



NS Solutions

2016年3月期 決算説明会

2016年4月28日

代表取締役社長 謝敷 宗敬

新日鐵住金ソリューションズ株式会社

目次

I . 2016年3月期実績

II . 2017年3月期 業績見通し

III . 主要施策

参考.コーポレートメッセージ

I

2016年3月期実績

I - 1 . 2016年3月期 連結決算ハイライト

年度実績

		対前年度	(対見通)
● 売上高	2, 187億円	+124億円、 +6%	(-33億円) ※1
● 営業利益	193億円	+31億円、 +19%	(-13億円) ※1,2
● 当期純利益	112億円	+21億円、 +23%	(-19億円)

※1 退職給付債務 (PBO) 割引率見直し影響 -12億円を含む

※2 特別損失(投資有価証券評価損)計上影響-5億円および税制改正影響-5億円を含む

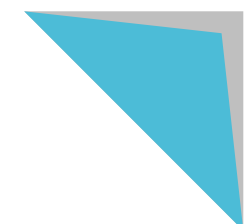
注) 本資料における当期純利益の表記は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しております。
PBO : Projected Benefit Obligations(退職給付債務)

I - 2. 2016年3月期 連結決算業績

単位: 億円	2015/3期 実績 A	2016/3期 実績 B	対前年 差異 B-A	2016/3期 (前回公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高	2,063	2,187	+124	2,220	-33
業務ソリューション	1,393	1,425	+32	1,435	-10
サービスソリューション	670	762	+92	785	-23
売上総利益	393	437	+44	451	-14
<売上高総利益率>	<19.1%>	<20.0%>	<+0.9%>	<20.3%>	<-0.3%>
販管費	231	244	+13	245	-1
営業利益	162	193	+31	206	-13
経常利益	165	194	+29	210	-16
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	91	112	+21	131	-19

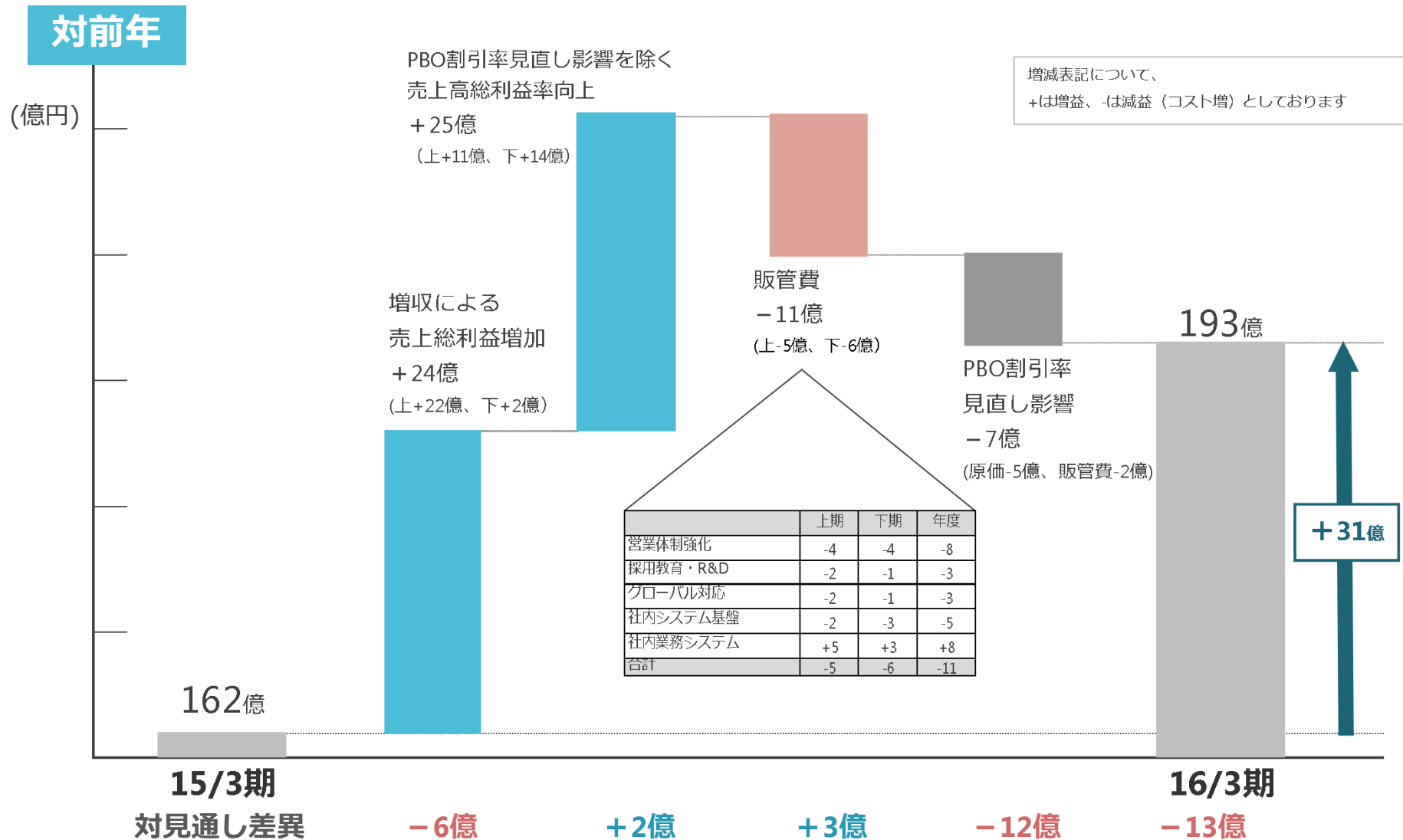
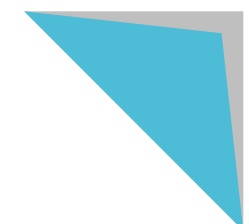
※税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し、2015/3期 - 9億円、2016/3期 - 5億円を含む。
投資有価証券評価損 2016/3期 - 5億円を含む。

I - 3. 2016年3月期 連結業績 | 上下別



単位：億円	2015/3期		2016/3期		対前年		下期 見通し E	対見通し 差異 D-E
	上期 実績	下期 実績	上期 実績	下期 実績	上期 差異	下期 差異		
	A	B	C	D	C-A	D-B		
売上高	949	1,114	1,063	1,124	+114	+10	1,157	-33
業務ソリューション	616	778	675	750	+60	-28	760	-10
サービスソリューション	333	336	388	374	+54	+37	397	-23
売上総利益	186	207	220	217	+34	+10	231	-14
<売上高総利益率>	<19.6%>	<18.6%>	<20.7%>	<19.3%>	<+1.1%>	<+0.7%>	<20.0%>	<-0.7%>
販管費	116	115	122	123	+5	+8	123	-1
営業利益	70	92	98	95	+28	+2	108	-13
経常利益	72	92	101	93	+28	+1	109	-16
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	48	60	51	+18	+3	71	-19
NSSMC向け	(180)	(177)	(241)	(228)	(+61)	(+51)	(219)	(+9)
PBO割引率見直しを除く 売上高総利益率	-	19.0%	-	20.2%	-	+1.2%	20.0%	+0.2%

I - 4 . 2016年3月期 連結営業利益分析



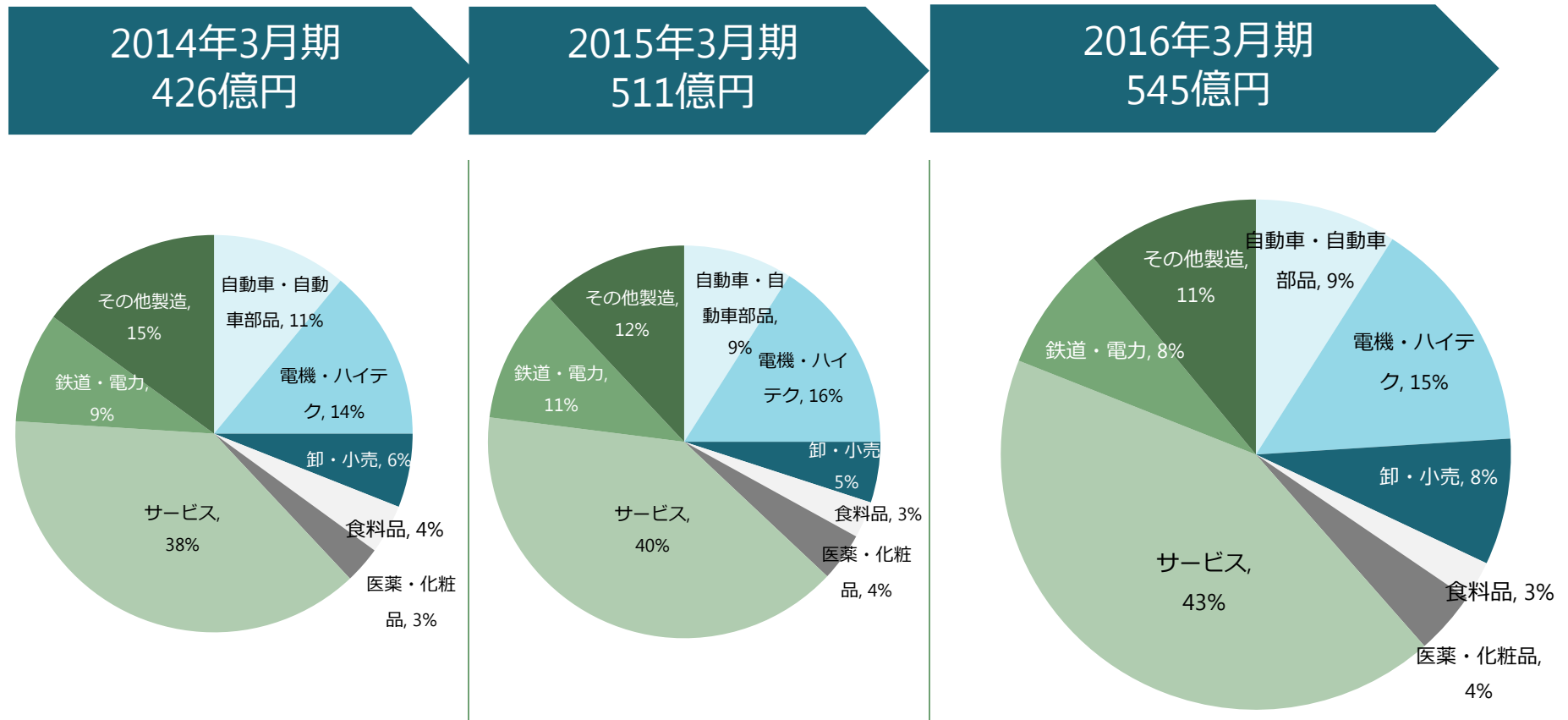
I - 5. 2016年3月期

| サービス・顧客業種別売上高

単位: 億円	2015/3期		2016/3期		対前年差異		コメント
	実績 A	うち ITインフラ	実績 B	うち ITインフラ	B-A	うち ITインフラ	
業務ソリューション	1,170	307	1,184	308	+14	+2	
産業・流通・サービス	511	170	545	176	+35	+6	ネット系、小売、グローバル製造業の増
金融	359	84	361	85	+2	+1	メガバンク、その他銀行、証券とも昨年水準を維持
公共公益他	301	54	278	48	-23	-6	案件端境期での減
サービスソリューション	653		747		+94		
ITインフラ	284	<307>	270	<308>	-14	<+2>	クラウド、DCの増、プロダクト、従来型運用サービスの減
鉄鋼	368		476		+108		NSSMC向けの増
子会社等	240		256		+16		
合計	2,063		2,187		+124		
(参考)NSSMC向け	(356)		(469)		(+112)		
受注高	2,070		2,298		+228		業務ソリューション - 5 サービスソリューション +224 子会社等 + 9

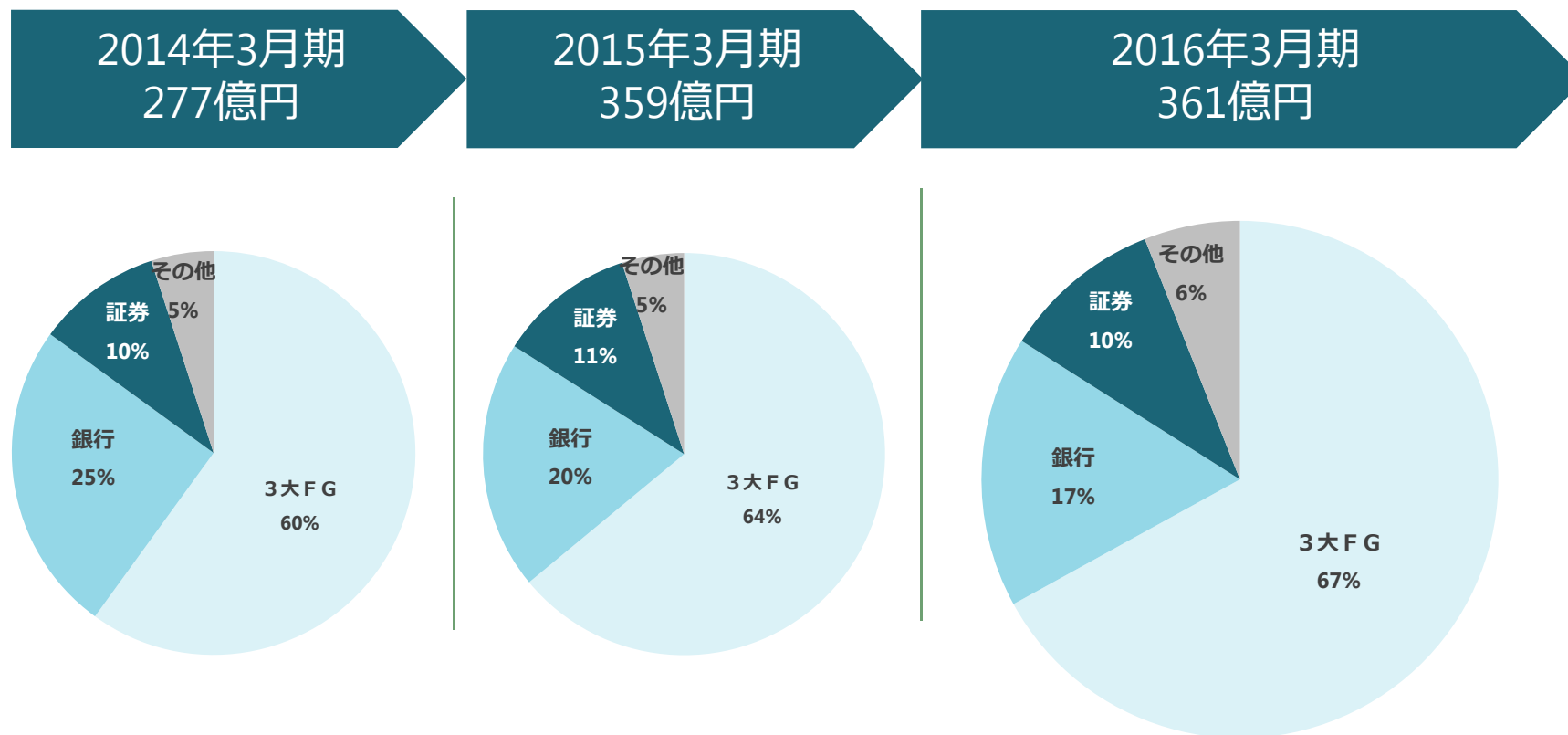
I - 6 . 産業・流通・サービス向けの内訳推移

2014年3月期～2016年3月期



I - 7 . 金融向けの内訳推移

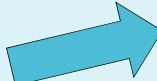



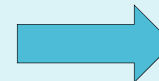
2014年3月期～2016年3月期



II

2017年3月期 業績見通し

Ⅱ-1. サービス・顧客業種別の市場認識

市場認識		市場動向
業務ソリューション		
産業・流通・サービス	製造業はPLM(*1)や生産管理等の戦略的なシステム投資が活発。ネット系・小売流通は旺盛なIT投資が継続。	
金融	メガバンクは一部大型案件がピークアウトするものの、海外展開を含め中期的な成長戦略を踏まえたIT投資が高い水準で継続。マイナス金利導入が金融機関収益及びIT投資に対して及ぼす影響には注意が必要。	
公共公益他	政府IT予算は、マイナンバー等の分野は堅調であるものの、既存領域は削減基調にあり、厳しい競争環境が継続。テレコムは厳しい事業環境が継続も、新技術領域の拡大を期待。	
サービスソリューション		
ITインフラ	統合基盤構築・刷新の需要は堅調。VDI(*2)/DaaS(*3)・MDM(*4)等の端末統合管理の需要も拡大。ITインフラアウトソーシングサービスのニーズも引き続き堅調。	
鉄鋼	NSSMC統合DAY2対応が高水準で継続、海外子会社でのIT投資が活発化。	

*1:PLM:Product Lifecycle Management
*2:VDI:Virtual Desktop Infrastructure

*3:DaaS:Desktop as a Service
*4:MDM:Mobile Device Management

Ⅱ - 2 . 2017年3月期 連結業績見通し

単位：億円	2016/3期 実績 A	2017/3期 見通し B	対前年 差異 B-A
売上高	2,187	2,230	+43
業務ソリューション	1,425	1,450	+25
サービスソリューション	762	780	+18
売上総利益	437	453	+16
<売上高総利益率>	<20.0%>	<20.3%>	<+0.3%>
販管費	244	247	+3
営業利益	193	206	+13
経常利益	194	210	+16
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	112	135	+23

※2016/3期は、投資有価証券評価損 -5億円、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し -5億円を含む。

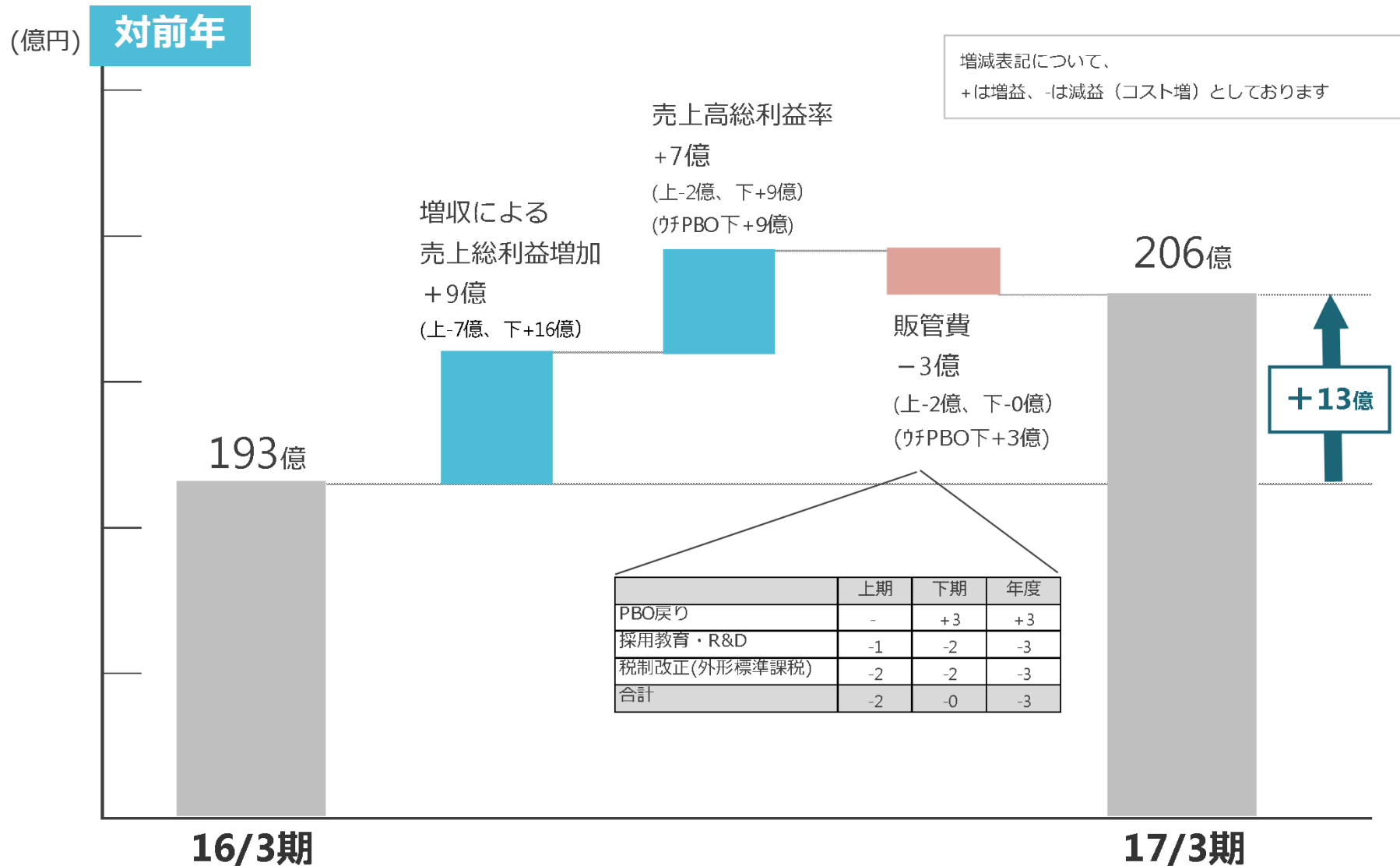
Ⅱ - 3 . 2017年3月期 連結業績見通し サービス・顧客業種別売上高

単位:億円	2016/3期		2017/3期		対前年差異		コメント
	実績 A	うち ITインフラ	見通し B	うち ITインフラ	B-A	うち ITインフラ	
業務ソリューション	1,184	308	1,210	335	+26	+27	
産業・流通・サービス	545	176	585	200	+40	+24	ネット系、小売、グローバル製造業の増
金融	361	85	340	95	-21	+10	メガバンクは大型案件ピークアウトで減も、戦略投資は堅調
公共公益他	278	48	285	40	+7	-8	官公庁向けは厳しさが継続
サービスソリューション	747		760		+13		
ITインフラ	270	<308>	300	<335>	+30	<+27>	クラウド、ITアウトソーシングの増
鉄鋼	476		460		-16		NSSMC統合DAY2は高水準で継続も、製鐵所案件の減
子会社等	256		260		+4		
合計	2,187		2,230		+43		
(参考)NSSMC向け	(469)		(450)		(-19)		

Ⅱ - 4 . 2017年3月期 連結業績 | 上下別

単位: 億円	2016/3期			2017/3期			対前年		
	上期 実績	下期 実績	年度 実績	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し	上期 差異	下期 差異	年度 差異
	A	B	C	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	1,063	1,124	2,187	1,030	1,200	2,230	-33	+76	+43
業務ソリューション	675	750	1,425	655	795	1,450	-20	+45	+25
サービスソリューション	388	374	762	375	405	780	-13	+31	+18
売上総利益	220	217	437	211	242	453	-9	+25	+16
<売上高総利益率>	<20.7%>	<19.3%>	<20.0%>	<20.5%>	<20.2%>	<20.3%>	<-0.2%>	<+0.8%>	<+0.3%>
販管費	122	123	244	124	123	247	+2	+0	+3
営業利益	98	95	193	87	119	206	-11	+24	+13
経常利益	101	93	194	90	120	210	-11	+27	+16
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	51	112	56	79	135	-4	+28	+23
(参考)NSSMC向け	(241)	(228)	(469)	(220)	(230)	(450)	(-21)	(+2)	(-19)
期首受注残	859	912		970			+111		

Ⅱ - 5 . 2017年3月期 連結営業利益分析



Ⅱ－6．配当方針

当社は将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。利益配分につきましては、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当及び事業成長に備えた内部留保を確保することを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向30%を目安といたします。

1 株当たり年間配当金の計画

2017年3月期

45.00円

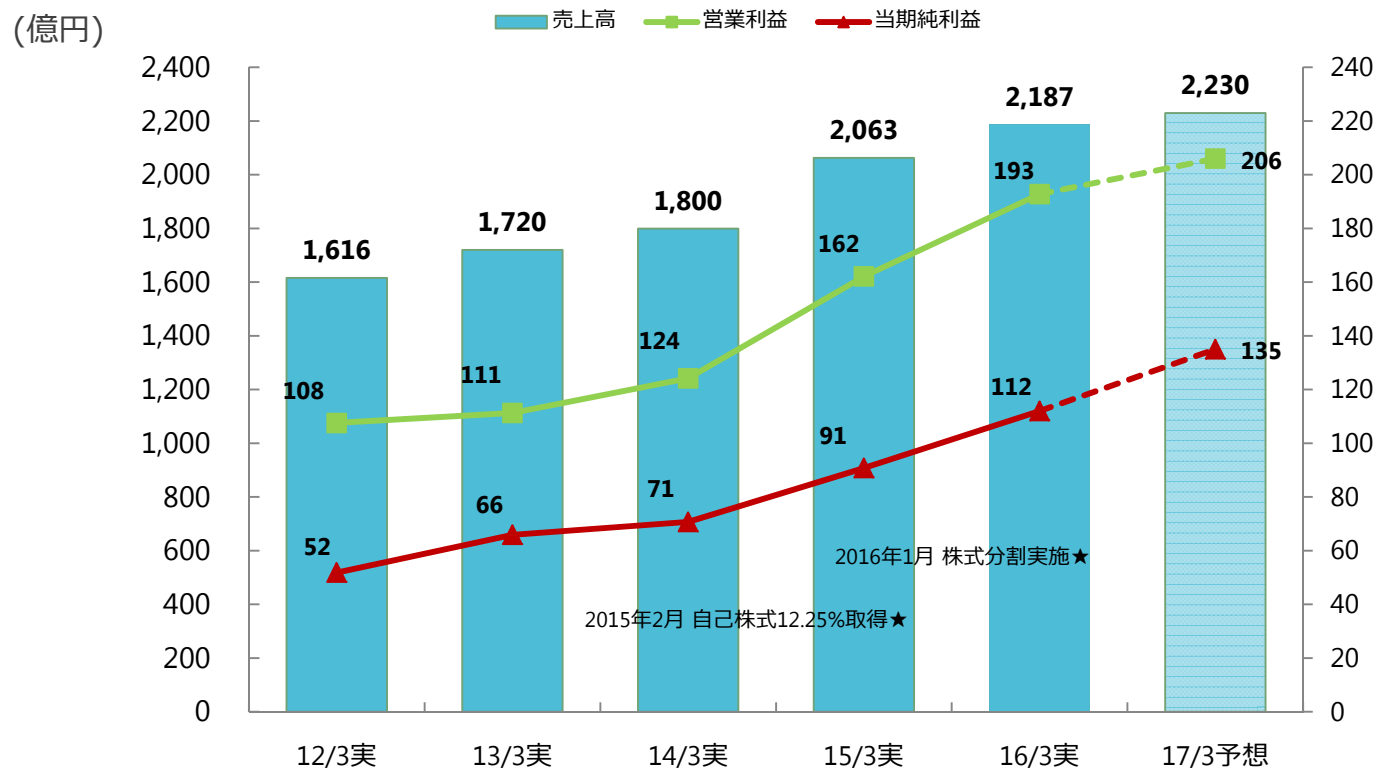
(参考) 2016年3月期

42.50円

2Q末/期末において、それぞれ1株当たり22円50銭の配当を予定しております

※2016年3月期の配当額は、期首に株式分割があったものと仮定して算出しております。

Ⅱ-参考 主要財務指標推移



	12/3実	13/3実	14/3実	15/3実	16/3実	17/3予想
EPS(円)	48.92	62.20	66.72	87.34	120.08	145.15
配当(円)	20.00	20.00	20.00	22.50	42.50	45.00
配当性向(%)	40.9	32.2	30.0	25.8	35.4	31.0
ROA(%)	8.1	8.1	8.3	10.0	11.3	—
ROE(%)	6.0	7.3	7.5	9.5	11.5	—
自己資本比率(%)	62.4	63.6	59.8	56.3	57.3	—

※ EPS及び配当については、2016年1月1日付け株式分割を遡及調整して算出しております。

III

主要施策

Ⅲ. 2017年3月期の主要施策

1. 構造的事業成長の持続

- ・ アカウント基盤強化
- ・ サービスビジネスの強化
- ・ 新日鐵住金統合Day2対応
- ・ グローバル展開の拡充
- ・ 新たなビジネスモデルの創出 (IoX)

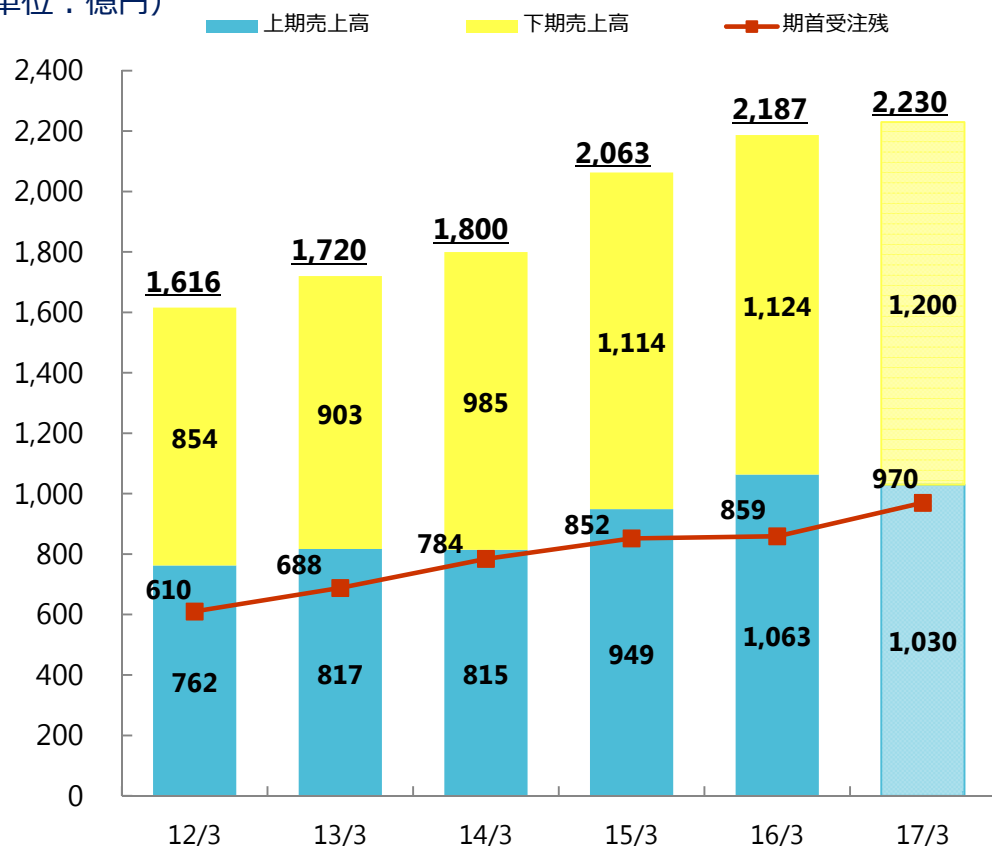
2. 成長を支える事業基盤の強化

- ・ リスクマネジメントの強化
- ・ 魅力ある会社・職場づくりの推進(働き方変革)
- ・ 採用教育、研究開発の拡充

Ⅲ- 1. アカウント基盤強化①

受注残・人員リソース

(単位：億円)

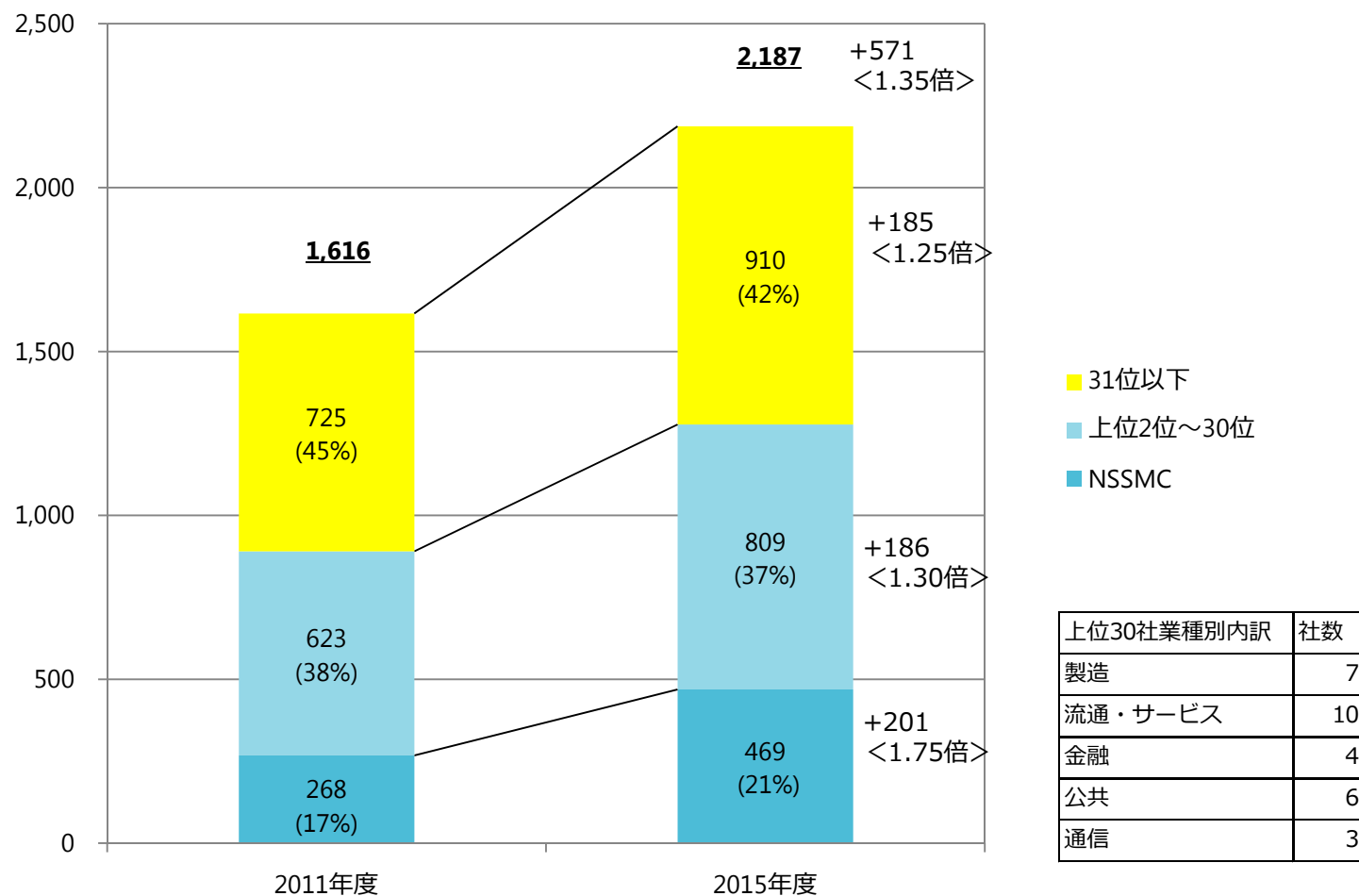


期末連結 人員数	4,972人	4,985人	5,052人	5,325人	5,644人	-人
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	----

- ・ アカウント戦略に基づく
事業部間の営業連携推進
- ・ ITパートナー戦略に基づく
顧客とのリレーション強化
による長期案件の獲得
- ・ 持続的事業成長を支える
直営リソースの拡充

Ⅲ-2. アカウント基盤強化②

上位顧客売上高推移 単位：億円、構成比：（％）、伸び率〈倍〉



Ⅲ-3. サービスビジネスの拡大①

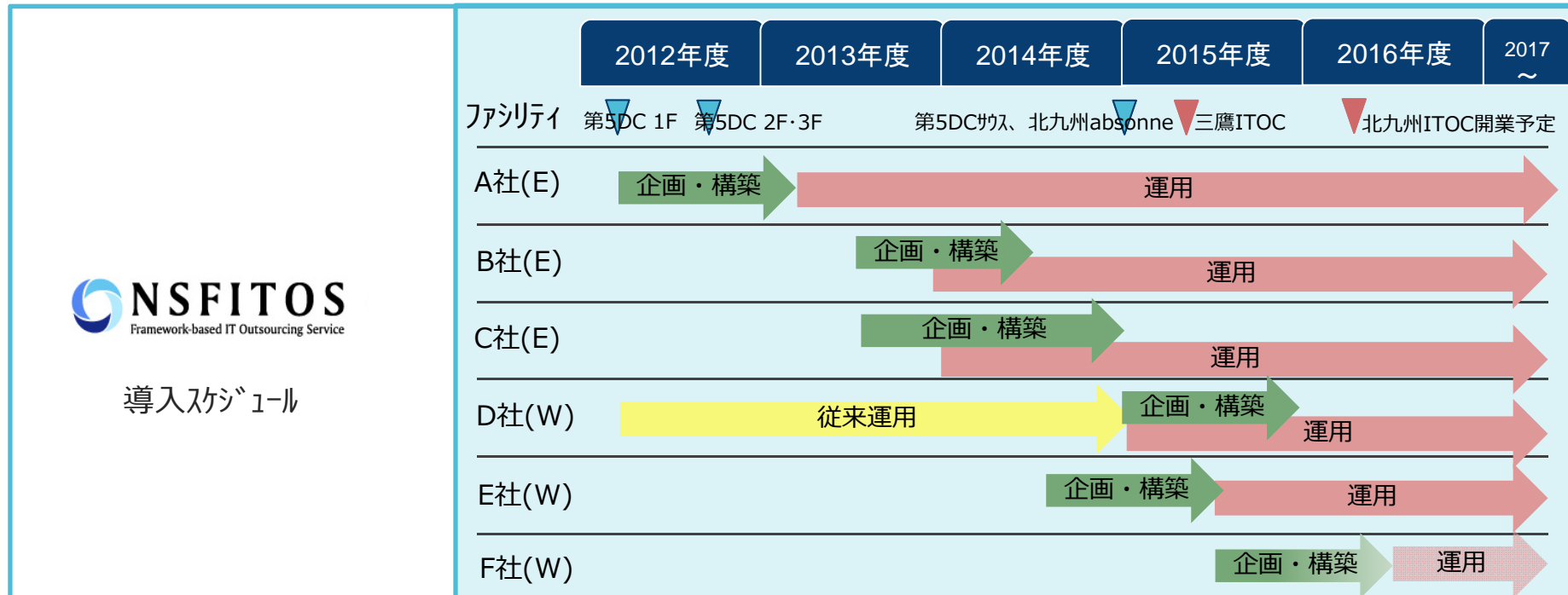
2015年4月、北九州市にabsonneサービス拠点を開設し、absonne国内東西二拠点化を実現。
 2016年7月、北九州市にITOセンターを開設し、隣接する北九州DCと合わせ、西の「NSFITOS Center」を立ち上げ予定。
 NSFITOS Center 東西二拠点化により、運用サービスの安定性、信頼性を向上。



ITOセンター: データセンター仕様の堅牢な建物施設に運用SEを集結した、24H/365D稼働の安全/高度なインフラ統合運用サービスセンター

NSFITOS: セキュアなDCファシリティに、クラウド基盤「absonne」をコアとするお客様IT環境を構築し、当社フレームワークに基づく標準化したインフラ運用サービスをワンストップで提供するアウトソーシングサービス

Ⅲ-4. サービスビジネスの拡大②



導入スケジュール



端末統合管理サービス“M³DaaS@absonne”

・パブリッククラウド型DaaSのサービスシェア 3年連続第1位(株)富士キメラ総研調べ)



電子契約サービス“CONTRACTHUB@absonne”

・ASPICクラウドアワードASP・SaaS部門 支援業務系グランプリ 2年連続受賞

*1:DaaS:Desktop as a Service

*2:VDI:Virtual Desktop Infrastructure

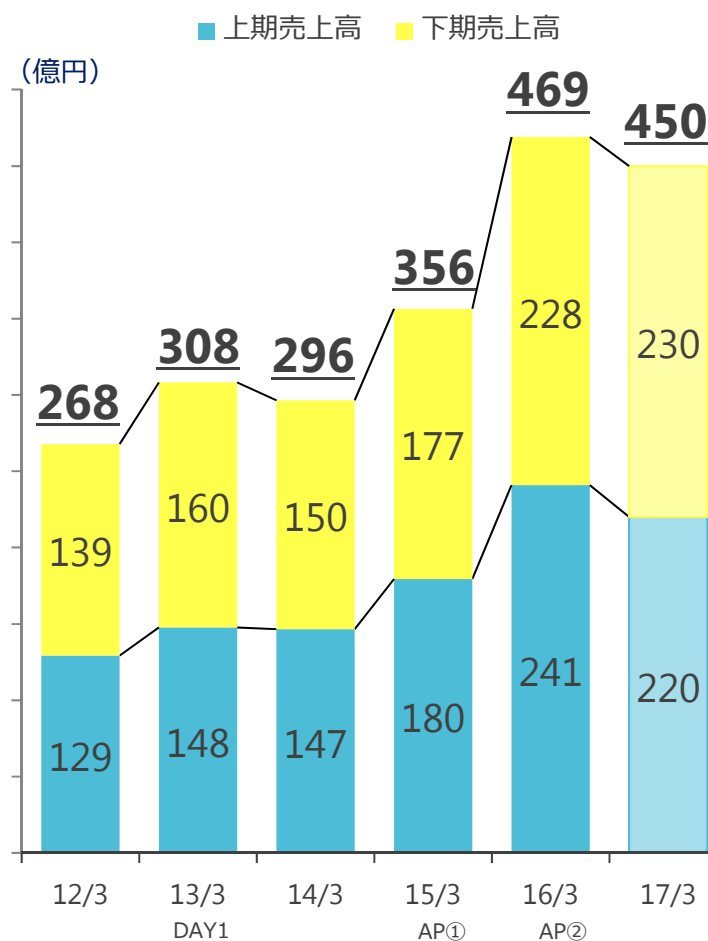
NSFITOS、absonne、M³DaaS、CONTRACTHUB@absonneは
新日鉄住金ソリューションズ株式会社の登録商標です。

Ⅲ- 5. 新日鐵住金統合対応①

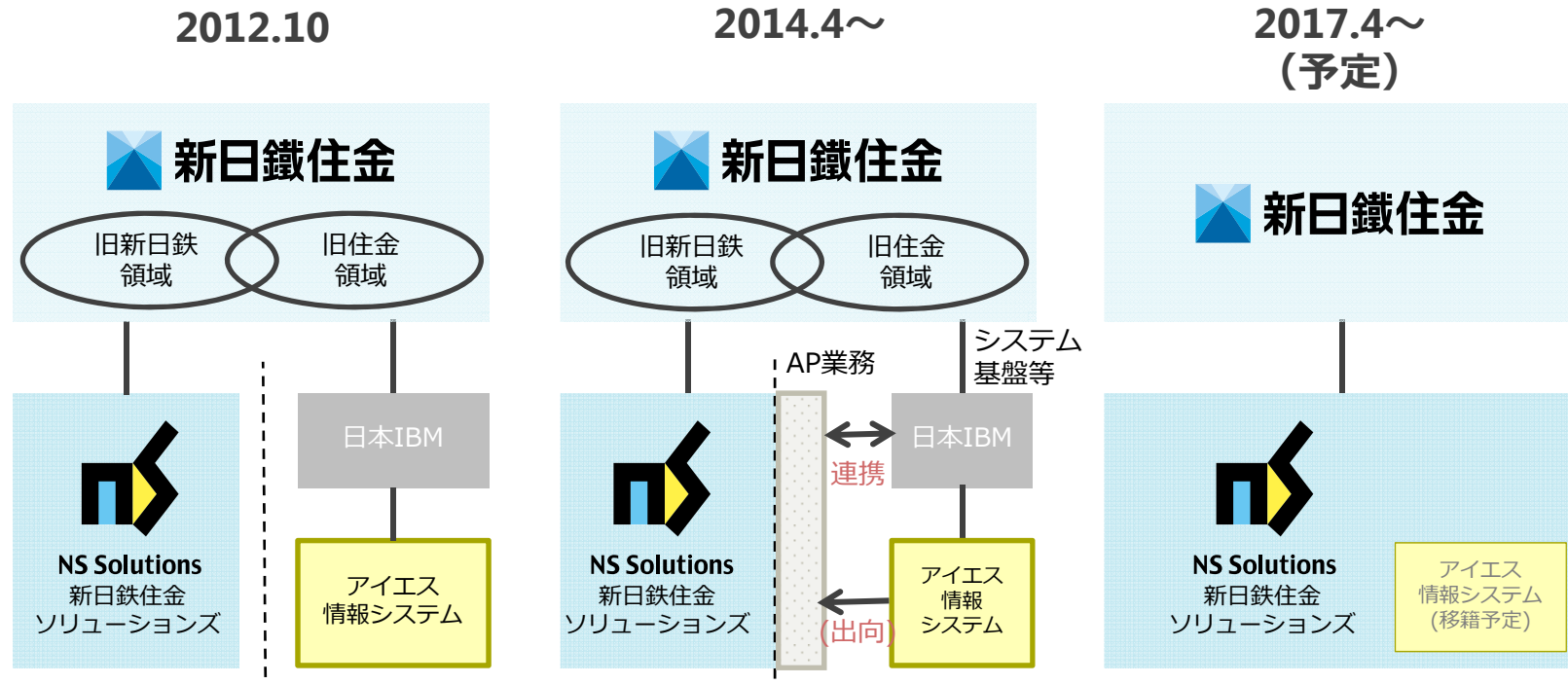
1. システム業務移管スケジュール

年度	移管業務内容等
2012	<ul style="list-style-type: none"> ・NSSMC統合（2012年10月） ・統合DAY1対応
2013	<ul style="list-style-type: none"> ・新日鐵住金、日本 I B M、アイエス情報システム、当社の4社による業務移管の合意 ・鉄鋼ソリューション事業本部統合推進本部を設置
2014	<ul style="list-style-type: none"> ・A P業務移行① （本社、技術開発本部、小倉製鉄所、和歌山製鉄所） ・アイエス情報システムより出向受け126名
2015	<ul style="list-style-type: none"> ・A P業務移行② （鹿島製鉄所、製鋼所、尼崎製造所） ・アイエス情報システムより出向受け109名
2016	<ul style="list-style-type: none"> ・DAY2営業基幹系統合対応 ・アイエス情報システムの完全移管に向けた準備
2017 (4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・システム基盤業務を含む全ての業務移管完了 ・アイエス情報システム株式の買い取りと社員の移籍完了

2. 新日鐵住金向け売上高の推移

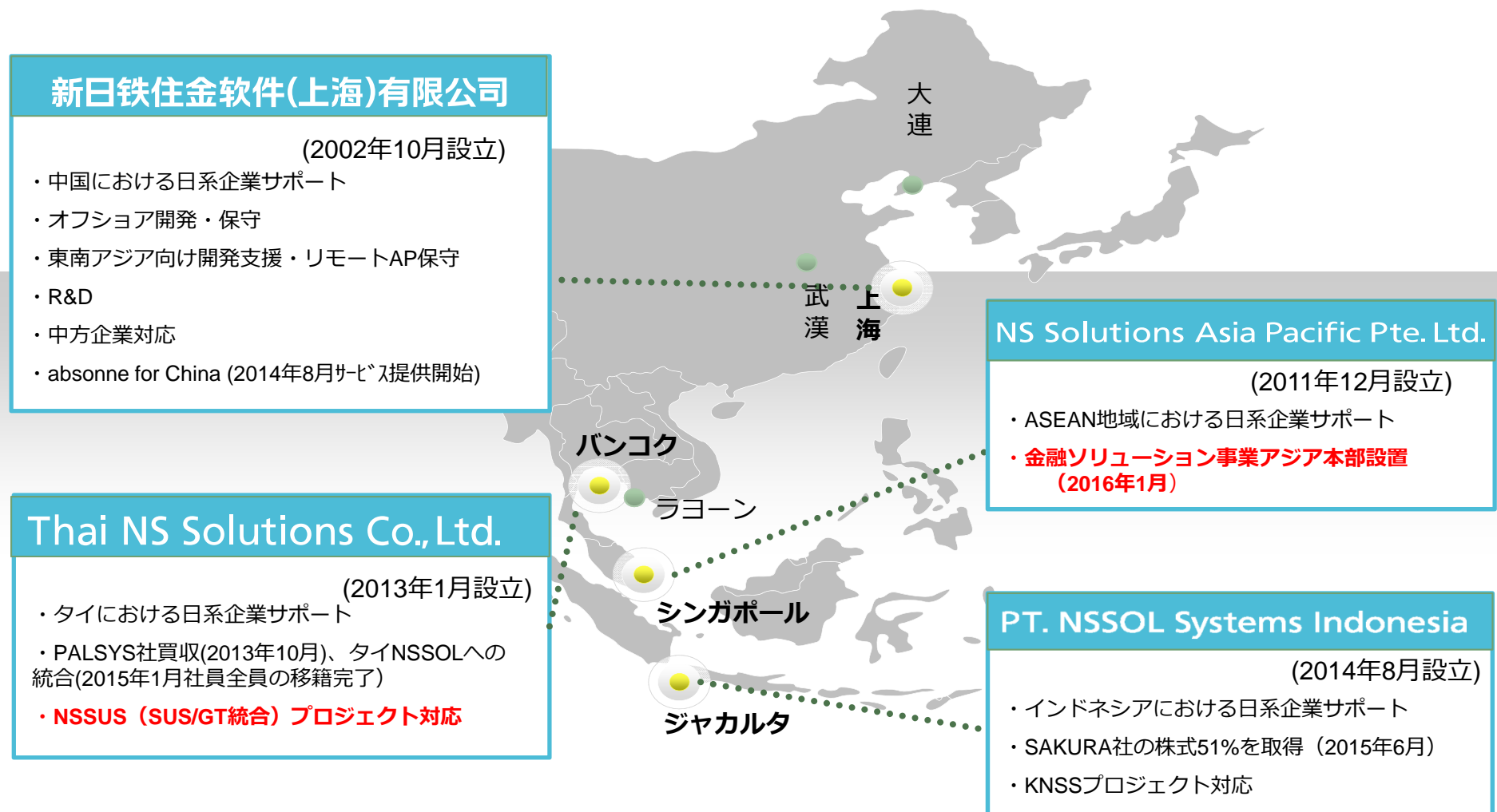


Ⅲ-6. 新日鐵住金統合対応②



アイエス情報システム	従業員	全従業員数約390名 (2016年4月1日現在)	NSSOLが受託するAP業務に従事する従業員はNSSOLに出向	従業員のNSSOLグループ移籍
	株主構成	日本IBM 51% 新日鐵住金株式会社 49%	日本IBM 51% 新日鐵住金株式会社 49%	NSSOL 100%

Ⅲ-7. グローバル展開の拡充（アジア）



- ・ 2015年4月 グローバル・ビジネス・コンダクト（GBC）の制定（5カ国語：日・英・中・タイ・インドネシアで展開）

Ⅲ-8. グローバル交流会（アジア）



・2016年3月 東京にてグローバル交流会実施（4ヶ国5社のローカル社員50名が参加）

Ⅲ-9. 新たなビジネスモデルの創出

IoX = IoH(Humans) + IoT(Things) ※現在、「IoX」は商標登録出願中。

測位システム
(UWB(Ultra Wide Band)
:腕に付けている写真)



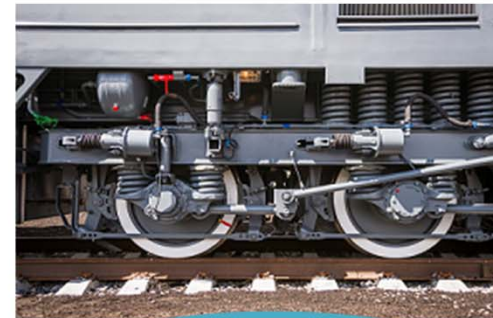
両腕に付けた IoT送信部

ARメガネ



スマートファクトリー
作業把握、作業支援

鉄道台車



スマートプロダクト
自動計測、状態分析

2014年度
以前

- ・2009fyからAR・スマートグラスを活用した現場作業支援の研究開発に着手
- ・2014fy以前に実施したPoC数 ファクトリー系: 13件

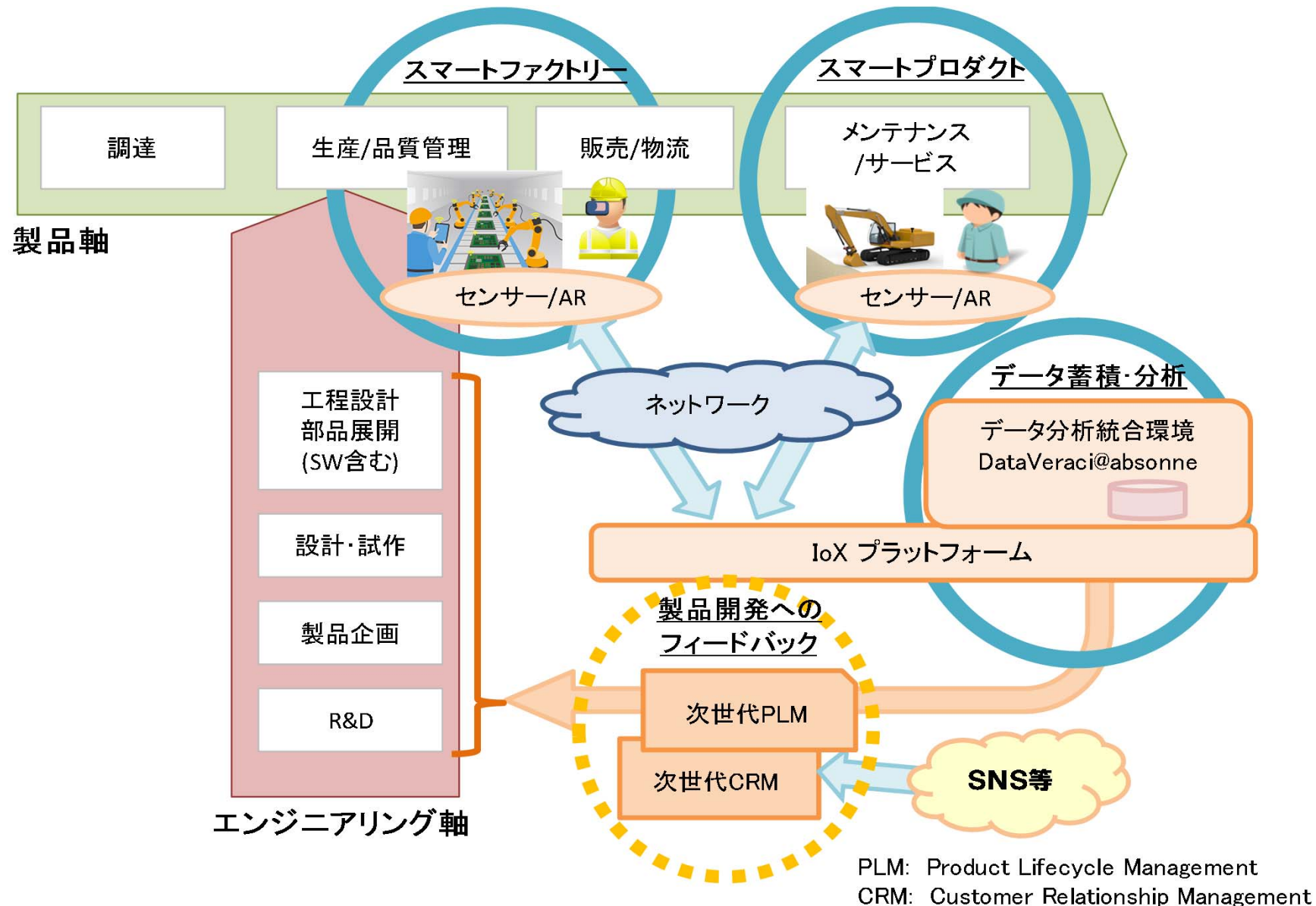
2015年度

- ・2015fyに実施したPoC数 ファクトリー系: 23件 プロダクト系: 3件
- ・IoX事業評価の視点
 - 技術的な完成度・信頼度
 - 顧客における費用対効果の検証/確認
 - NSSOLにおける継続性(サービス型)、ソリューションとしての展開可能性

2016年度

- 個別のIoXソリューションの展開
 - PoCでの有望案件のソリューション化
- サービス型データ分析統合環境(「DataVeraci」)の提供
 - クラウド基盤: データ蓄積・処理
 - 解析支援ツール: 各種BIツール、各種機械学習(R、DataRobot含む)
 - 解析コンサルティング: DS&TC(Data Science & Technology Center)

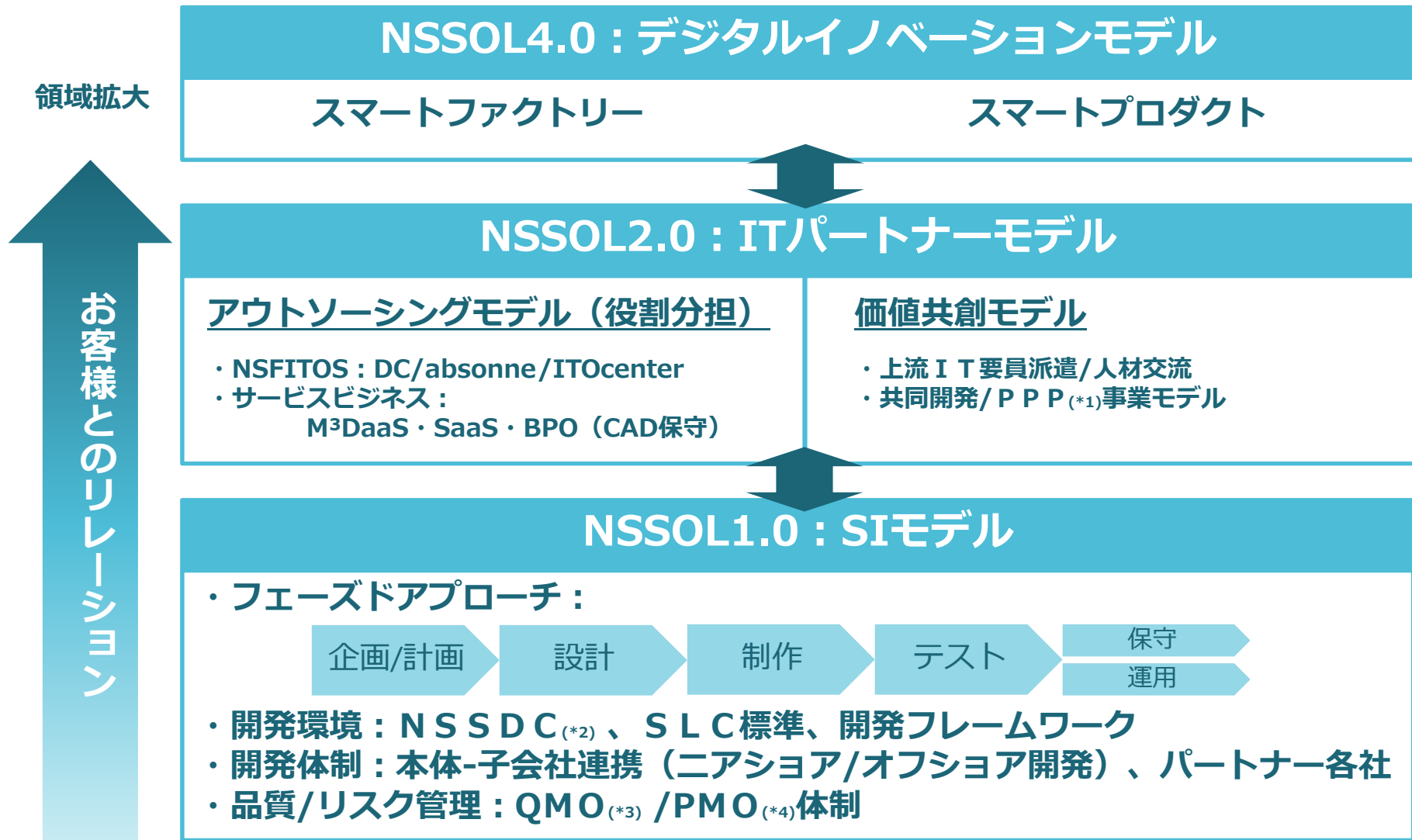
Ⅲ-10. 新たなビジネスモデルの創出



参考

コーポレートメッセージ

参考- 1. 事業モデル



*1:PPP:Pay Per Performance

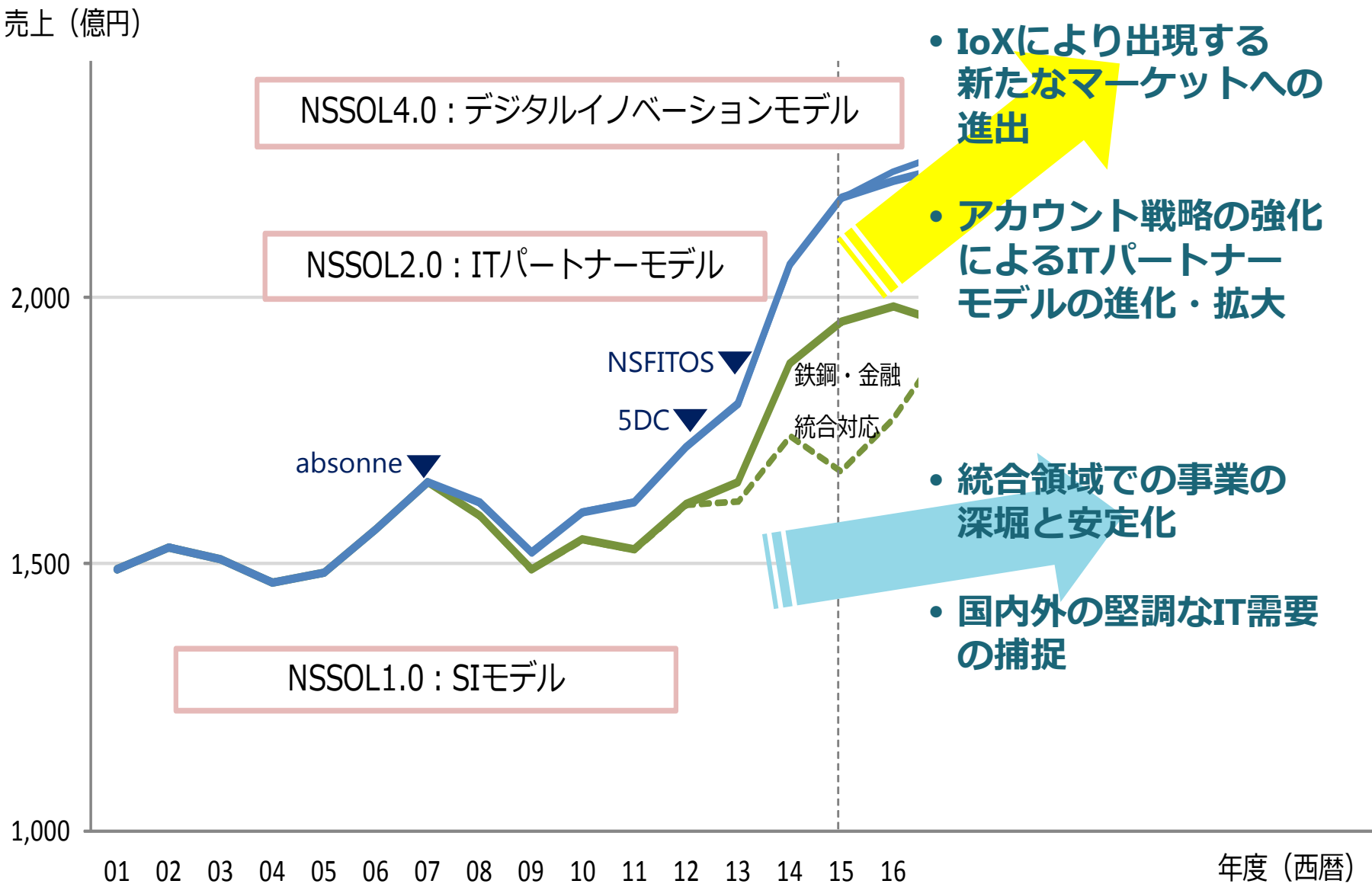
*2:NSSDC:NS Solutions Software Development Cloud

*3:QMO:Quality Management Office

*4:PMO:Project Management Office

参考- 2. 事業成長イメージ

売上 (億円)



参考- 3. コーポレートメッセージ

きょうのベストが
明日もベストとは限らない変化の時代
ビジネスのあらゆる局面で
情報技術による革新が求められています
この変化に お客様が描く未来とは

その先の姿を
ともに見つめ ともに切り拓くこと
それが私たちの使命です

情報化を牽引してきた技術力
革新をもたらす最先端の知見
ふたつの力を束ね 私たちは挑み続けます
あしたを もっと輝かせるために

ともに、その先の答えを
新日鉄住金ソリューションズ

Today's best is not always best tomorrow in this dynamic era.
IT-driven innovation is essential for business.
How do you envision your future?

Exploring the future with you,
to realize your vision together.
That is our mission.

With our technologies driving IT revolutions
And our insights inspiring business innovations
We take on the challenges to bring a brighter tomorrow.

NS Solutions
Answers to power your future

在这日新月异的时代，今天的最佳选择未必是明天的最优方案。
在商务活动的最前线，无时无刻都需要基于信息技术的改革创新。
面对如此变化，客户描绘的未来是怎样的？

与客户一同发现和开拓新篇章。
这就是我们的使命

引领信息化的技术实力，助推革新最前端知识。
我们将结合这两大优势，不断挑战
为了共创更加辉煌的明天

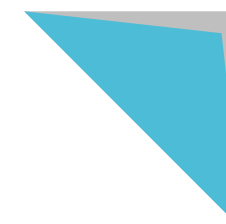
让我们去共创新时代的解决方案
新日铁住金系统集成株式会社

下期以降主要プレスリリース①

- 10月1日 VMware vCloud Airと連携したシステム構築・運用サービスを提供開始
～企業がシステムに最適なクラウドを選択するためのサービスを拡充～
- 10月29日 新日鉄住金ソリューションズ、高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対し、最適なセキュリティシステムの構築から運用までワンストップで支援するサービス「NSSEINT」を提供開始
- 11月4日 新日鉄住金、製鉄所の生産を支える操業系システムのIT基盤として「Oracle Exadata」を導入
業務停止が許されないシステムの稼働基盤を、高可用性を実現できる「Oracle Exadata」で構築
- 11月16日 電子契約サービス「CONTRACTHUB@absonne」が
ASPICクラウドアワード2015「ASP・SaaS部門 支援業務系グランプリ」を2年連続受賞
- 11月25日 株式分割並びに株式分割に伴う定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ
- 12月3日 DaaS市場2年連続売上高No.1のクライアント仮想化ソリューションに
仮想化技術トップベンダーVMwareのVMware Horizonを採用
- 12月15日 シンガポール現地法人に金融機関向けサービスの提供組織を設立
- 1月22日 資生堂、迅速な経営判断を支える 情報分析基盤を刷新
～5000人超が利用する分析基盤を、既存資産を活用しつつ性能と拡張性を大幅に向上～
- 2月29日 ファミリーマート、年1,000店規模の積極出店を支える業務効率化・コンプライアンス強化のため
電子契約サービス「CONTRACTHUB@absonne」を導入

下期以降主要プレスリリース②

- 3月9日 レオパレス21、個人向け賃貸契約に業界初の電子化サービスを展開
新日鉄住金ソリューションズの電子契約サービス「CONTRACTHUB@absonne」にて実現
- 3月22日 【富士キメラ総研調べ】パブリッククラウド型DaaS市場でクライアント仮想化ソリューション
「M³DaaS@absonne」が3年連続シェア1位を獲得
- 3月22日 クライアント仮想化ソリューション「M³DaaS@absonne」における
エンドポイント向け標的型攻撃対策サービスを強化
- 3月31日 ≪参考≫ 新日鉄住金(株) 当社システムの統合を2016年度中に完了
高度ITを活用した製造基盤整備を加速
- 4月12日 トマト銀行、外為総合インターネットサービス～CrossMeetz～を導入
- 4月20日 国内初、クラウド運用基盤に「IPcenter」を採用
マネージドクラウド・サービス「absonne」（アブソヌ）の運用サービスを強化
- 4月26日 電子契約サービス「CONTRACTHUB@absonne」機能追加
「スマートフォンからの利用」や「電子捺印機能の追加」により利用シーンを拡大
- 4月27日 八十二銀行、法人向け外為インターネットバンキングに
外為総合インターネットサービス～CrossMeetz～を採用



本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<http://www.nssol.nssmc.com/>

NS Solutions, NSSOL, NSロゴは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。